令和6年度指定管理者評価シート

1　管理運営の状況等

(1)施設名	さぎ山記念公園
(2)施設概要	①所在地 　さいたま市緑区大字上野田地内 ②施設の設置目的 　さいたま市民のサードプレイスとして緑あふれる公園を満喫して頂き、四季の草木の中で休憩し、散歩や遊具エリア、キャンプ場、修景つり池等を利用し触れることにより日常生活の疲れを癒し英気を養って頂く場とする。 ③施設の概要 　1986年開場、開設面積43,455㎡、主な施設（野外無料キャンプ場、修景施設、無料つり池、さぎ山記念館展示室、遊具広場）
(3)指定管理者	さぎ山記念公園ネットワーク共同企業体
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 　令和6年4月1日～令和26年3月31日 ②指定管理料 　令和6年度 18,680千円
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況（利用状況含む） ◇利用状況 ＊キャンプ場利用者数 6,427人（前年度6,133人） ＊対前年比＋4.7% ◇業務実施状況 ＊施設維持管理業務 ＊キャンプ場利用受付業務 ＊業務仕様書及び事業計画書に則った諸業務 ②維持管理業務の状況 ＊保守管理業務　芝生広場、さぎ山記念館、キャンプ場、つり池等 ＊日常清掃業務　さぎ山記念館、キャンプ場、園内等 ＊定期清掃業務　さぎ山記念館、キャンプ場、園内等 ＊植栽管理業務　芝生広場、高中低木剪定、花壇等 ③その他の業務 ＊さぎ山記念館学習室における市民団体”さぎ山交流広場”の運営サポート。 ＊ファームインさぎ山との協働により農業体験サポート
(6)収支状況	①収入 　・利用料金収入　7千円 　・指定管理料　18,680千円 ②支出 　・人件費　6,192千円 　・事務費　2,514千円 　・施設管理費　19,385千円 【自主事業】 ①収入　551千円 ②支出　4千円

(7)利用者アンケート等による市民からの意見･要望等への対応	11月から2月にかけてアンケート票への記入により利用者アンケートを実施しました。清掃・維持管理・全体評価の9割以上の方からほぼ満足・満足とのご評価を頂きました。 その中で、芝生広場において犬のフンがありなくして欲しい、との要望に対して看板の内容を見直し設置数を増やして持ち主のマナー向上を訴えました。また、フン発見時適宜除去を心掛けました。
(8)その他	＊つり池の魚を増やして欲しいとの要望に対し、12月に50キロ（約200匹）の新しいフナ成魚を放流し釣り人の満足度向上を図りました。 ＊8月に池の水半分を入れ替えを実施し、水質向上に努めました。 ＊普通救急講習未受講者2名が講習を受講し、危機管理対応力向上に務めました。 ＊2度トイレのフラッシュバルブ盗難に遭いましたので、巡回時トイレ監視を強化し再発防止に努めました。

２ 提案内容の達成状況

（指定管理者から提案のあった項目の達成状況）

提案内容	達成状況
運営マニュアル整備	苦情処理マニュアル、抽選会運営マニュアル、行為許可規定、減免規定、施設利用申請受付マニュアル、受付マニュアル、行為許可受付マニュアル、電話応対マニュアル、情報セキュリティーインシデント対応マニュアル、拾得物対応マニュアルをはじめ、危機管理マニュアルも作成し、従事するスタッフを含めて教育を徹底致しました。
芝生(草地)広場の管理運営	従前禁止されていた芝生広場でのボール遊びや犬の散歩を他の来園者に迷惑にならない程度許可し、芝生広場を有効に活用して頂きました。
施設、設備点検マニュアル	各職員の個人差による点検の不備がないよう点検業務をマニュアル化し、均一的な点検によりリスクの見逃しを防ぎました。 樹木医による樹木点検も2度実施しました。特にサクラへのクビアカツヤカミキリ点検を重点的に実施し、12月に1件発見し市に通報、市により該当木の伐採と迅速な対応につながる結果となりました。

３ 評価

(1)指定管理者による評価

弊社として初めての都市公園指定管理業務を慣れない環境下、悪戦苦闘しながらの1年でありました。 配慮が行き届かず利用者の市民の皆様へご迷惑をお掛けしたことがあったかもしれませんが、大きなトラブルもなく無事初年度を終えることが出来ましたのは、市民の皆様のご協力と南部公園整備課を始めとする市担当職員の皆様のご指導の賜物と深く感謝申し上げます。 現在再整備事業「実施設計」の最終段階で、本年後半には整備工事が開始される予定です。 来園者の皆様にはご迷惑をお掛けすることもあるかとは思いますが、魅力ある賑わい創出の「さぎ山記念公園」を目指し、また建設工事中、指定管理業を並行して遂行しながら絶対無事故の整備建設完了を期して、令和8年10月のリニューアルオープンに向けて、準備を進めて参ります。 一方で、運営に追われ自主事業が出来なかったのは大きな反省点です。リニューアルオープンに向けて、市民の関心を高めるべく自主事業運営にも注力し鋭意努力して参ります。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:都市局みどり公園推進部南部公園整備課)

総合評価(B)※A～D 1 項目別の評価 ①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進 前年度と比較し、キャンプ場利用者が微増していることから、利用促進に努めているといえる。市民の平等利用の観点から、多方面の要望を汲んで対応する必要がある。芝生や池の管理について、利用方法を変える場合の影響を検討したうえで実施するよう指導した。 ②経費の削減 盗難防止のため巡回を強化することで、不要な修繕費の増加を抑えるよう努めていた。 ③適正な管理運営の確保 樹木医による公園内樹木点検を実施し、枯損木を早期に発見することで安全管理の確保に努めていた。 2 総合評価 地元住民からの要望や、管理運営における課題に対して真摯に取り組んでおり、市が求める水準を満たしていることから総合評価をBとした。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

指定管理者の変更に伴い、従前の管理運営体制との違いについて市民等からの問合せが多く、適切な管理運営に向けた課題が多いため、一定水準以上の管理運営を行えるよう引き続き指導していく。